昭和59年度の一般会計予算案

総額は五十四億五千万円に

58年度当初額より5.2%の伸び

予算計上された主な事業　大郷地区地域生活センターの建設／鷲巻地区農村環境改善センターの建設／みの口児童公園の整備／都市下水路事業の継続実施

昭和五十九年度の一般会計予算案がまとまりました。予算総額は五十四億五千万円で、五十八年度当初予算より五・二%の伸びで編成されました。

市税収入額（自己財源）の約半分を、借金返済に当てなければならない現在の財政状況から国、県に依存した中での精いっぱいの伸び率といえます。

事業については、議会で採択された請願案件や、市政懇談会などで出された要望などを、できるだけ反映させました。

この予算案は、三月八日から開かれる市議会に提案され、審議されることになります。詳しくは四月号でお知らせします。

昭和58年度下半期の財政事情

一般会計予算総額は3回の補正で 56億2,600万円に

市のお金がどのように使われ、行政が運営されているかを知っていただくため、毎年年度途中に一般会計予算の執行状況を公表しています。その、12月31日までの状況がまとまりましたのでお知らせします。当市では、歳出に占める公債費の割合が大きく、苦しい財政のやりくりが続いています。

収支状況は

収入済み　六九%
支出済み　六七%

当初予算規模で、五十七年度より九・五%マイナスの、五十一億八千三百万円でスタートした五十八年度一般会計予算は、その後三回の補正を行い、五十八年十二月三十一日現在で五十六億二千六百四十四万円となりました。

また、予算総額に対しての収支比率の状況は、収入済みが六九%の三十八億八千万円、支出済みは六七・四%の三十七億九千万円になっています。

下段のグラフは、歳入、歳出の部における予算額と収入、支出済額を各費目別に表したものです。

歳入の各費目については、ほぼ予定どおり入ってきています。ただ、景気の影響で市税収入が今後どれだけ伸びるかが、財政の健全化に大きく影響してきます。

一方、歳出では民生費が七六・八%、土木費六九・一%、教育費七三・三%、農林水産業費四六・六%、商工費が八五%の支出比率で、それぞれ適正な予算執行に心がけ、事業の推進を図ってきています。

これまで進めてきた主な事業は▼県営農道整備　▼地盤沈下対策　▼道路整備　▼街路整備　▼勤労者福祉センター建設　▼果樹高度生産モデル団地設置　▼農村総合モデル事業　▼都市下水路整備などが上げられます。

市債総額は76億円に

市債は、市が大きな事業を実施するときに、国などから借り入れるお金です。これは七年～二十五年の長期間にわたって返済していくもので、歳出の公債費がこの返済金です。十二月三十一日現在の累積借入残高は、七十六億八千五百六十三万六千円で、昨年同期より三億三千四十九万三千円増えています。

一般会計予算執行状況

（58年12月31日現在）

予算総額 56億2,644万円　収入済額38億8,048万円　支出済額37億8,982万円

（細字＝予算額　太字＝収入・支出済額　万円以下切り捨て）

	予算総額	収入済額	支出済額
市税	21億6,332万円	17億3,644万円	
地方交付税	14億7,417万円	13億3,384万円	
国庫支出金	5億1,446万円	3億1,205万円	
県支出金	4億0,840万円	1億8,823万円	
諸収入	3億6,096万円	1,610万円	
市債	2億7,845万円	0円	
分担金及び負担金	1億7,052万円	1億2,987万円	
地方譲与税ほか	2億5,610万円	1億6,388万円	
民生費	10億5,529万円	8億1,014万円	
公債費	10億0,853万円	5億1,185万円	
総務費	6億3,729万円	4億8,105万円	
教育費	6億1,293万円	4億4,900万円	
土木費	5億8,832万円	4億0,674万円	
農林水産業費	5億4,820万円	2億5,567万円	
商工費	4億1,349万円	3億5,156万円	
衛生費ほか	7億6,232万円	5億2,378万円	

市税の内訳

収納済額　17億3,644万円（万円以下切り捨て）
収納率　82.6%

市民税　6億5,052万円
固定資産税　8億0,694万円
たばこ消費税　1億1,424万円
電気税　1億1,370万円
その他　5,101万円

市債現在高

【借入先】（万円以下切り捨て）

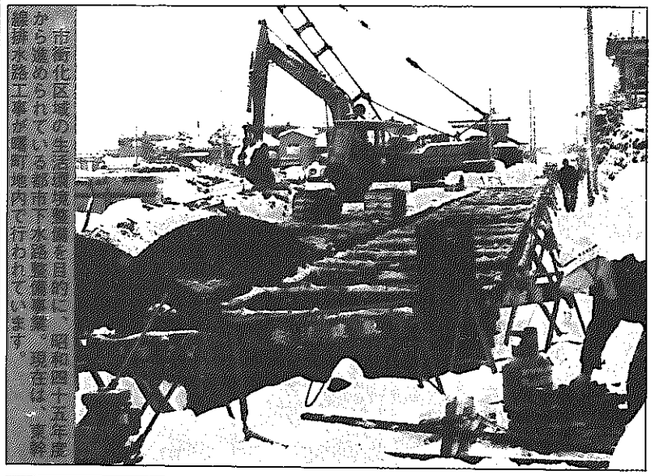
大蔵省	37億4,305万円
市中銀行	21億9,013万円
公営企業金融公庫	9億0,130万円
郵政省	6億1,523万円
県貸付金	3,187万円
その他	2億0,402万円

【主な使いみち】（万円以下切り捨て）

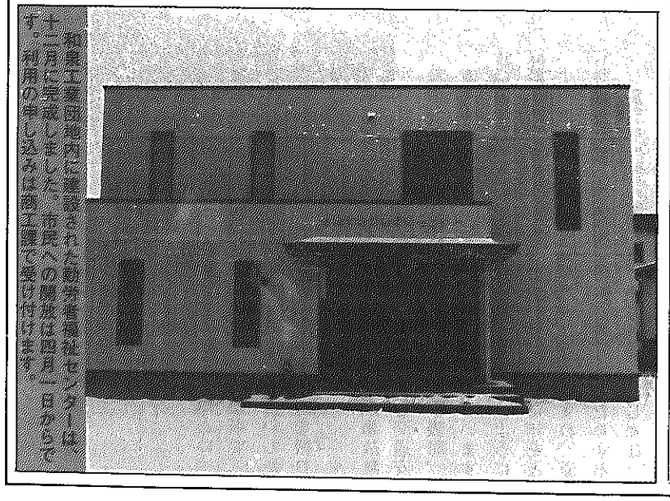
学校建設	23億1,074万円
市庁舎建設・道路整備	20億1,688万円
総合体育施設建設用地取得	11億9,841万円
地方交付税振替分	8億7,422万円
地盤地下対策・農業基盤整備・都市計画事業	6億7,146万円
保育園建設	3億3,057万円
市営住宅建設ほか	2億8,330万円

市の財産

土地　488,915㎡　建物　87,833㎡
出資金　1,619万円



市街化区域の生活環境整備を目的に、昭和四十五年度から進められている都市下水路整備事業。現在は、東幹線排水路工事が幸町地内で行われています。



和泉工業団地内に建設された勤労者福祉センターは、十二月に完成しました。市民への開放は四月一日からです。利用の申し込みは商工課で受け付けます。